原子分解能分析電子顕微鏡システム	令和７年１月27日	301,620,000	令和８年２月28日
二次イオン質量分析装置	令和６年12月11日	181,500,000	令和８年３月31日
広島大学ＰＳＩＧＭＰ教育研究センター整備（モジュール）工事	令和６年10月18日	1,175,460,000	令和８年８月28日
広島大学ＰＳＩＧＭＰ教育研究センター整備工事	令和７年３月19日	1,881,000,000	令和８年９月18日

［資産除去債務］

１．資産除去債務の概要

当法人は、有害物質に関する除去義務及び賃貸借契約等に基づく原状回復義務に関して、資産除去債務を計上しております。

２．資産除去債務の金額の算定方法

使用見込み期間を残存耐用年数に基づいて見積もり、割引率は期間に応じた国債利回りを使用しております。

３．当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

期首残高	294,467,829円
有形固定資産の取得に伴う増加額	0円
時の経過による調整額	2,575,855円
資産除去債務の履行による減少額	0円
その他増減額	0円
期末残高	297,043,684円

［金融商品関係注記事項］

１．金融商品の状況に関する事項

当法人の資金運用については、国立大学法人法第35条の２において準用する独立行政法人通則法第47条の規定に基づき、預金、金銭の信託、国債、社債で行っております。なお、これらは広島大学財務会計処理細則に沿ってリスク管理を行っております。

資金調達については、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構からの借入れ（大学改革支援・学位授与機構債務負担金及び長期借入金）に限定しております。これらの使途は附属病院の整備資金であり、文部科学大臣の事前承認に基づいて借入れを実施しております。

なお、未収附属病院収入は、広島大学財務会計処理細則に沿ってリスク管理を行っております。

また、この他に、現物寄附で受け入れた株式をその配当金を原資として寄附目的の遂行に充てるために保有しております。

２．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

なお、現金は注記を省略しており、預金、未収入金及び未払金（リース債務を除く）は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

（単位：円）

貸借対照表表示勘定科目	貸借対照表計上額（＊１）	時価（＊１）	差額（＊１）
⑴　有価証券及び投資有価証券			
①　満期保有目的の債券	6,878,901,946	6,278,750,000	△　600,151,946
②　売買目的有価証券	852,610,000	852,610,000	—
③　その他有価証券（＊２）	284,760,000	284,760,000	—
⑵　未収附属病院収入	6,840,703,926		
徴収不能引当金（＊３）	△　41,856,941		
	6,798,846,985	6,798,846,985	—
⑶　大学改革支援・学位授与機構債務負担金（１年以内償還予定分も含む）	(724,604,973)	(719,360,090)	(△5,244,883)
⑷　長期借入金（１年以内償還予定分も含む）	(8,576,016,000)	(8,091,544,385)	(△484,471,615)
⑸　長期未払金（長期リース債務）及び未払金（リース債務）	(315,452,538)	(312,915,054)	(△2,537,484)

（＊１）　負債に計上されているものについては、（　）で示しております。

（＊２）　その他有価証券には、新株予約権（貸借対照表価額５円）が含まれておりません。

（＊３）　未収附属病院収入に個別に計上している徴収不能引当金を控除しております。

㈱時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の三つのレベルに分類しております。

レベル１の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル２の時価：レベル１のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル３の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

有価証券及び投資有価証券

国債、社債及び上場株式は相場価格を用いて評価しております。国債及び上場株式は活発な市場で取引されているため、その時価をレベル１の時価に分類しております。一方で、社債は市場での取引頻度が低く、活発な市場における相場価格とは認められないため、その時価をレベル２の時価に分類しております。

未収附属病院収入

未収附属病院収入のうち貸倒懸念債権については、回収可能性を勘案し回収不能見込額を算定しているため、時価は決算日における未収附属病院収入計上額から徴収不能引当金計上額を控除した金額に近似しており、当該価額を時価とし、当該時価をレベル３の時価に分類しております。

大学改革支援・学位授与機構債務負担金、長期借入金及び長期未払金（長期リース債務）及び未払金（リース債務）

これらの時価は、元利金の合計額と、当該債務の残存期間及び信用リスクを加味した利率を基に、割引現在価値法により算定しており、レベル２の時価に分類しております。

［賃貸等不動産関係注記事項］

当法人は、東広島地区などに寄宿舎等を有しておりますが、賃貸等不動産の総額が重要性に乏しいことから、注記を省略しております。